

貝原俊民美しい兵庫づくり賞（通称 貝原賞）の概要

1 趣旨

故貝原俊民氏は知事として、また知事退任後もライフワークとして次のことに取り組んだ。

- ①成長から成熟へ転換する時代背景のもと、県民の自由な発想による県民運動を基軸に「こころ豊かな兵庫」をめざした県政を推進し、生活創造を基調とする「美しい兵庫」、「自由で調和ある自律社会」の実現。
- ②阪神・淡路大震災からの「創造的復興」を推進し、震災の経験と教訓を生かし日頃から減災の取り組みを進め、災害後の復旧復興の道筋を準備する「災害文化」をひろめる防災減災社会の構築。
- ③地方自治の第一人者として活躍し、官主導中央集権体制から民自律地方分権体制へ構造改革を先導するとともに、地域課題の調査研究・提言や若手研究者への支援など生涯にわたった地方自治の発展振興。

こうした氏の志を受け継ぎ活躍し、地域社会に貢献することが期待される個人または団体を対象に賞を贈ることにより、兵庫の発展に寄与する。

2 対象

兵庫県内又は兵庫県にゆかりの個人及び団体で、貝原俊民氏がめざした美しい兵庫づくりに寄与する次の分野で活躍し、今後も一層の活躍が期待される者。

- ①共に生きる地域づくり(教育・文化、生活や福祉、環境の保全・創造などに関する活動等)
- ②安全安心なまちづくり(防災文化の高揚、防災減災社会の構築、防犯、交通安全活動等)
- ③地方自治の振興(地方自治の振興に関する研究や取組等)

3 選考

県、市町、関係団体及び公募による推薦等に基づき、選考委員会で選定し、理事長が決定。

(選考委員)

兵庫県(知事)、市町の代表(市長会会長、町村会会長)、学識経験者((公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長)、経済界の代表(県商工会議所連合会会頭・県商工会連合会会長)、労働界の代表(日本労働組合総連合会兵庫県連合会会長)、言論界の代表(神戸新聞社社長)

4 表彰

受賞者(毎年3件程度)に、賞状及び副賞(個人50万円、団体100万円)を授与。

5 スケジュール

5月～7月	県、市町、関係団体及び公募による推薦募集
9月	選考委員会の開催
11月	表彰式

6 実施主体

(一財)地域政策研究会

※選考委員会に諮るまでの事務は「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」が受託実施。